

「令和3年度朝日自然塾」(R3. 7. 8)

みんなで歩こう タキタロウへの道

令和3年度朝日自然塾（※1）は鶴岡市立あさひ小学校の大鳥自然教室の一環として、5年生児童23名、教職員等6名、朝日自然塾連絡協議会の出羽三山の自然を守る会・山形県山岳連盟、庄内森林管理署等13名の総勢42名で、7月8日（木）に泡滝ダムから大鳥池まで登山を実施しました。



さあ、出発～！

足下の悪い沢を通過したり、揺れる吊り橋にドキドキしたり、岩から流れ出る清水に喉を潤したりしながら、みんなそろって伝説のタキタロウ（※2）が棲むという大鳥池に到着しました。

梅雨時期で心配された天気でしたが、児童たちの元気に雨雲も吹き飛ばされたのか、次第に青空が見えてきました。

これから、岩場や大小の沢などのいくつもの難所を、お互い励まし合って越えていき、大鳥池を目指します。



足下の悪い沢を通過



揺れる吊橋を慎重に渡る

目的地の大鳥池で楽しくお昼ご飯を食べたら、来た道を引き返して下山です。山を下るときは、登るとき以上に慎重に下っていきます。

バスの待つ泡滝ダムに戻ってきたときには、さすがにみんなお疲れの様子でした。

今日のこの一日で、自然の楽しさ、厳しさ、そしてその働きなど、普段の教室では学べないことを、感じ取ってくれたらと思います。

(※1) 朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

(※2) タキタロウ：大鳥池に生息していると言われる体長2～3mの巨大魚。

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター

おまけーコース中に咲いていた花たちです。



タマガワホトトギス



エゾノヨツバムグラ



オカトラノオ



オオバミゾホオズキ



コシジシモツケ



ショウキラン